

# 主体的な学びを促す 形成的評価の実践

東京都立小岩高等学校 椋本 哲也

はじめに

主体的

対話的

深い学び



# 1年間の授業進行

▶ 教科書の分野分け

# 教科書の分野分け

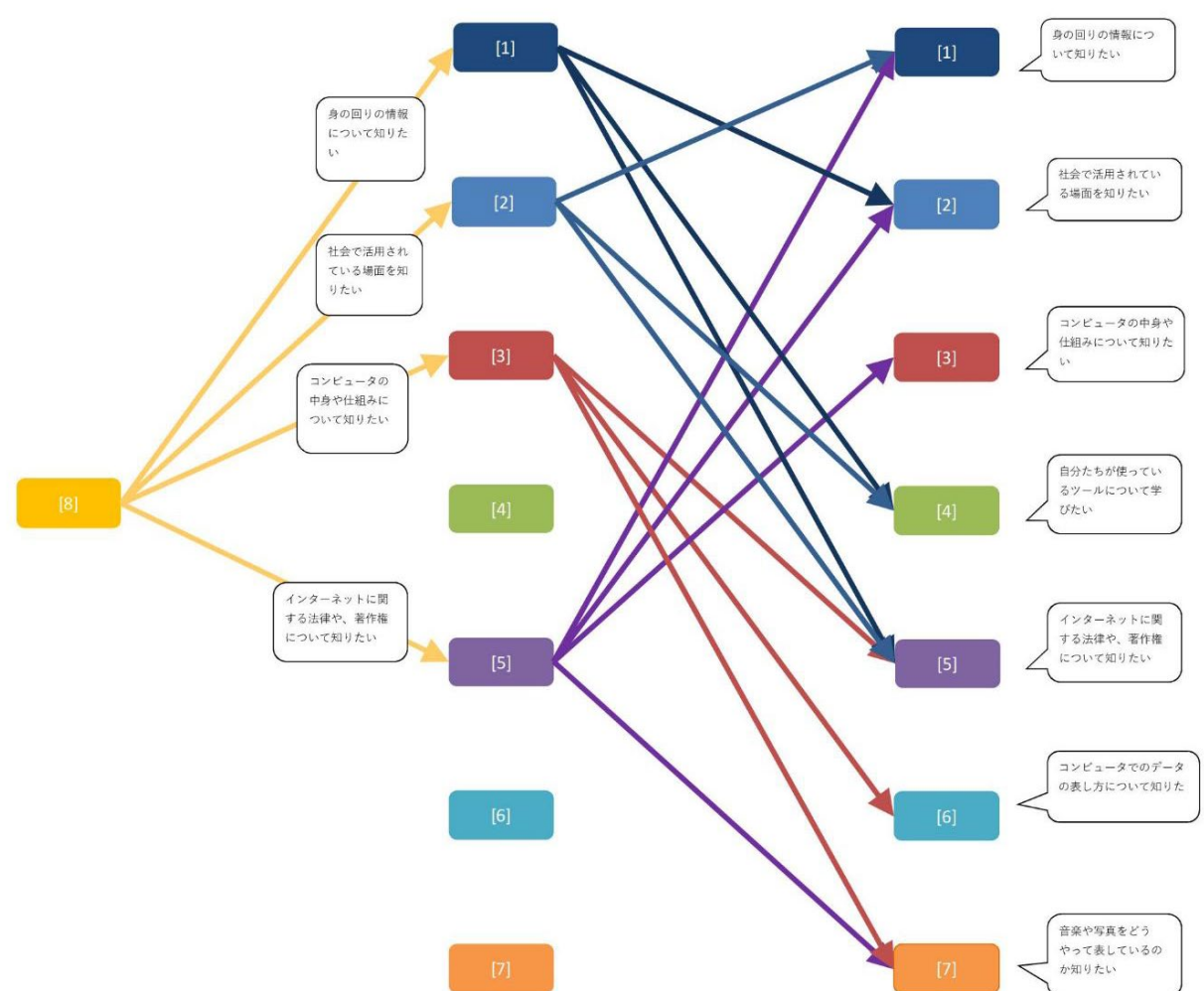
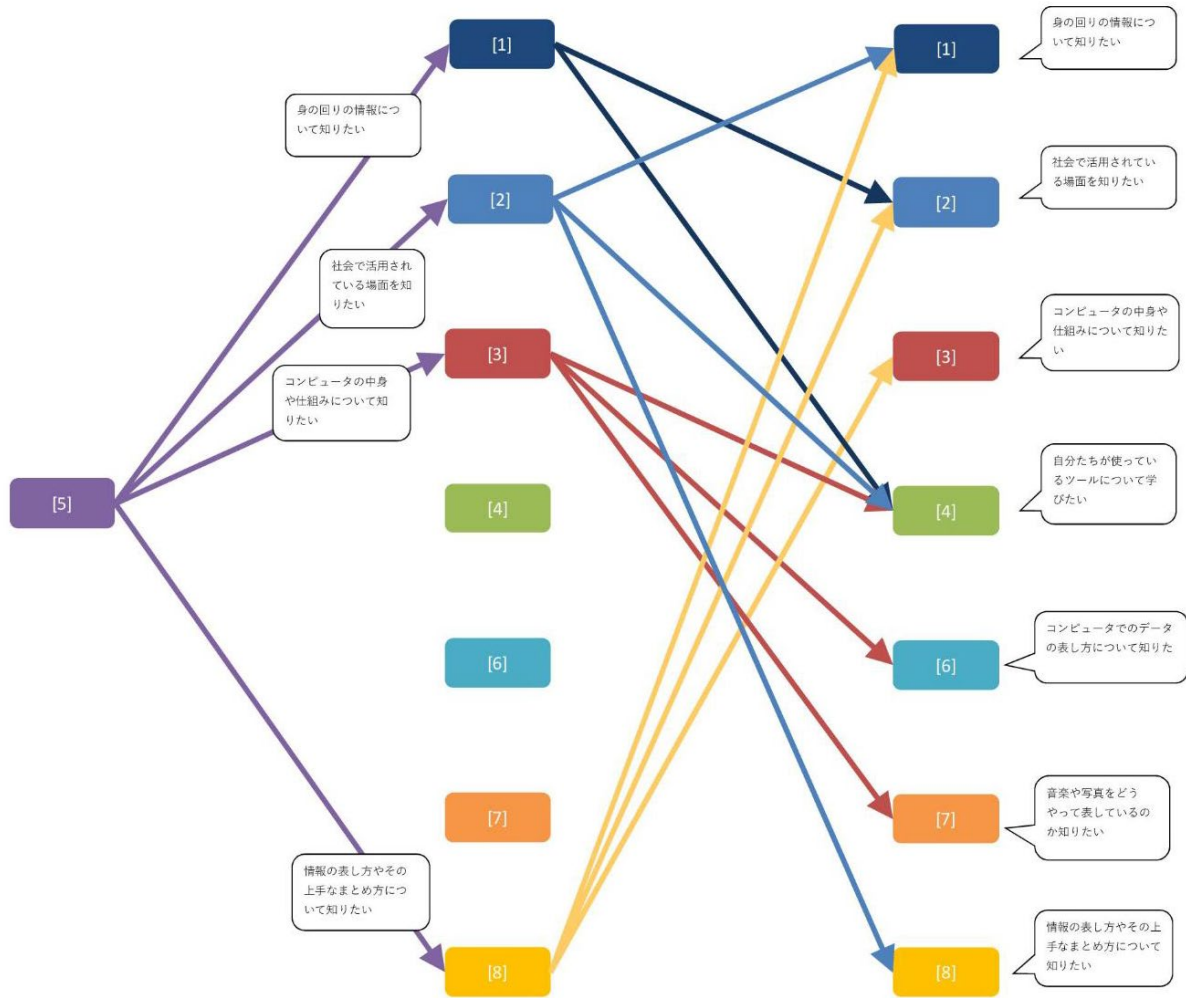
分野	章： ページ	内容	口頭試問	
1	1章： 6 ～ 17	情報社会の光と影	1-1	自分がよく使うインターネット上のコミュニケーションサービス（LINE、Instagram、Twitter、電子メールなど）を具体例として一つ選び、そのサービスの特徴と、個人の責任について自分自身で注意していることを述べなさい。
			1-2	デジタルデバイドについて、具体的な要因を一つ上げて説明しなさい。
			1-3	肖像権侵害について、具体例を交えて説明しなさい。
2	1章： 18 ～ 21	コミュニケーション	2-1	既存のマスメディア（新聞・雑誌・TVニュースなど）とインターネットメディア（ネットニュース・Twitter・YouTubeなど）の信憑性について比較し、あなたが注意していることを述べなさい。
	2章： 28 ～ 33		2-2	メールを送る際の、宛先・CC・BCCの違いを具体例を交えて説明しなさい。
	2章： 46 ～ 49		2-3	インターネット上で行われるB to C（ネット通販など）、またはC to C（メルカリ、ヤフオクなど）を具体例として一つ選び、そのサービスの特徴と個人の責任について注意すべきことを述べなさい。
	1章： 22 ～ 25		3-1	オペレーティングシステムが必要な理由を簡潔に説明しなさい。



# 1年間の授業進行

- ▶ 教科書の分野分け
- ▶ 分野ごとの流れ

# 分野ごとの流れ





# 1年間の授業進行

- ▶ 教科書の分野分け
- ▶ 分野ごとの流れ
- ▶ 計画と振り返り
  - ▶ 年間計画
  - ▶ 授業ごとの計画

分野ごとの  
課題

CBTによる小テスト

実習課題

口頭試問



# CBTによる小テスト

小テスト (コンピュータ) .xlsm - Excel

サインイン 困 ー 閉 ×

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 実行したい作業を入力してください 共有

B2 16s100

ユーザー名	氏名	テスト終了	16:03:24 開始	10点 (10点満点)
16s100	棕本 哲也		16:06:06 終了	
			受験時間 2分42秒	
番号	問題	解答欄	得点	
1	コンピュータなどで用いられる、暗いディスプレイに色を加えていく方法を加法混色という。	○	1	
2	アナログデータをコンピュータで扱えるよう変換することをAD変換という。	○	1	
3	NOT回路は入力と反対の結果を出力する。	○	1	
4	1MByteの1024倍は1【 】である。	GByte	1	
5	dpiという単位であらわされる、1インチ当たりのドット数を表す言葉は何か。	解像度	1	
6	デジタルデータの特徴として正しくないものを語群から選べ。	劣化しやすい	1	
7	動画において、アニメーションのセル画1枚分に相当する画像を何というか。	フレーム	1	
8	音のデジタル化において、収集した音の強さを離散的な数値にすることを何というか。	量子化	1	
9	変化する量を離散的に表現したデータを何データというか。	デジタル	1	
10	画素数640×480ピクセルのデジタル画像を8ビットのビットマップ形式で保存する場合のデータ量は何か。	307200	1	

名票 小テスト

準備完了

90%

# 実習作業

## 分野1の実習課題

目標：ほかの人の意見を聞いて相互理解をしよう

- 以下のテーマで、自分の考えをまとめたスライド（2枚以上）を各自で作成する  
➢LINEでの返信、未読スルー派？既読スルー派？それともトイレでもお風呂でも授業中でもなにがなんでも即レス派？あなたの意見を述べなさい
- スライドが完成したら、一度Formsで提出をする  
※今後も調査前に行う予定（全4回の予定）  
第1回スライドメットとプレゼン日

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
スライドメット	6/17 (木)	6/18 (金)	6/17 (木)	6/17 (木)	6/17 (木)	6/17 (木)	6/21 (月)	6/17 (木)	6/21 (月)
プレゼン日	6/24 (木)	6/25 (金)	6/24 (木)	6/24 (木)	6/24 (木)	6/24 (木)	6/28 (月)	6/24 (木)	6/28 (月)

- スライドを提出した人数によって、プレゼンテーションのグループに割り振られる
- 通知された日程でグループワークを行う

### ＜グループプレゼンテーションの方法＞

- ① 各自のスライドをA4サイズに印刷
  - ② メンバーの中で順番を決め、1人2分程度で発表をする  
グループの進行役を決めてもよいし、フリートーク形式でもよい
  - ③ 全員の発表後、意見交換を行う。その中で、自分と意見が違う人に対して「どうしてそういう風に考えたのか」等の質問をしよう  
※今回はディベートではないので、相手の意見に納得しなくても可。ただし、相手の意見を理解をする気持ちを持つことが重要。また『なぜ、自分と違う意見なのか』しっかりと聞くことが大事。
  - ④ ほかの人の意見を聞いたうえで、自分の意見は変わったかどうかを整理する
- グループワーク終了後、お互いの意見等を聞いて、自分の考えは変わったかどうか等をワークシートに記入し、Formsで提出

※グループワーク後にワークシートを記入するので、内容をしっかりと確認しておくこと

## 分野2の実習課題

- ◆ ロゴマークのリデザインをしよう  
街中では、日本語以外の言語での表記や、文字を使わずイラストや記号による表記がよく見られる。国籍や年齢問わず誰にでもわかりやすい表記とはどんなものだろうか。  
今回は、わかりにくいと感じる案内表示や看板などを探し、自分でリデザインを行う。

### ◆ 実習内容

- 自分で分かりにくいと感じる案内表示や看板などを、街中や学校内で撮影してくる
- 撮影した案内表示や看板を「さらに人に伝えるためにはどうしたら良いか」を考え、リデザインを行う。教科書P.19を参考にすること。
- リデザインの作成は原則PowerPointで行う。元の写真を貼り付け、それと比較してどういう意図で制作したかをしっかりと記述すること。
- 完成したら、PowerPointのスライドをFormsに提出する



# 口頭試問

	A	X	Y	Z	AA	AB
1	総申込数：542人	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目
91	7月10日(土)	2-7(3人)	2-9(4人)	2-6(5人)		
92	7月11日(日)					
93	7月12日(月)	2-7(8人)	2-2(3人)	2-9(8人)		
94	7月13日(火)	2-8(1人)	2-5(4人)	2-3(1人)	2-4(5人)	
95	7月14日(水)					
96	7月15日(木)		2-3(3人)	2-5(4人)	2-4(6人)	
97	7月16日(金)	2-2(4人)				
98	7月17日(土)					

6時間目

3. 回答する口頭試問を選択してください。 \*

- 1-1 自分がよく使うインターネット上のコミュニケーションサービス（LINE、Instagram、メールなど）を具体例として一つ選び、そのサービスの特徴と、個人の責任について述べてください。
- 1-2 デジタルデバイドについて、具体的な要因を一つ上げて説明しなさい。
- 1-3 肖像権侵害について、具体例を交えて説明しなさい。
- 2-1 既存のマスメディア（新聞・雑誌・TVニュースなど）とインターネットメディア（ニュース・Twitter・YouTubeなど）の信憑性について比較し、あなたが注意していることを説明しなさい。
- 2-2 メールを送る際の、宛先・CC・BCCの違いを具体例を交えて説明しなさい。
- 2-3 インターネット上で行われるB to C（ネット通販など）、またはC to C（メルカリなど）を具体例として一つ選び、そのサービスの特徴と個人の責任について注意すべき点を説明しなさい。

## その他の課題

小テストの作問

動画制作、相互評価

教え合い、学び合い

# ダッシュボード

---

スピードメーター型

---

ランプ型

---

割合グラフ

---

棒グラフ

ID 2020987654  
氏名 小岩 太郎

### 小テスト合格状況

	分野1	分野2	分野3	分野4	分野5	分野6	分野7	分野8
各項目合格者	合格	合格	0点	7点	合格	0点	5点	0点
	68.7%	38.0%	9.9%	13.5%	11.5%	7.9%	12.4%	11.8%

### 口頭試問合格状況

	分野1	分野2	分野3	分野4	分野5	分野6	分野7	分野8
各問合格者	1-1 9	2-1 8	3-1	4-1	5-1	6-1	7-1	8-1
	29.0%	7.3%	2.0%	1.1%	0.3%	0.6%	1.7%	1.1%
各問合格者	1-2	2-2	3-2	4-2	5-2 9	6-2	7-2	8-2
	3.9%	0.6%	0.3%	1.1%	10.1%	0.6%	1.4%	0.6%
各問合格者	1-3	2-3	3-3	4-3	5-3	6-3	7-3	8-3
	6.5%	2.0%	0.6%	1.1%	0.6%	0.6%	1.1%	3.4%

### 実習課題の提出状況

	分野1	分野2	分野3	分野4	分野5	分野6	分野7	分野8
各項目提出者	24点	21点	0点	0点	26点	0点	0点	0点
	13.2%	26.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%



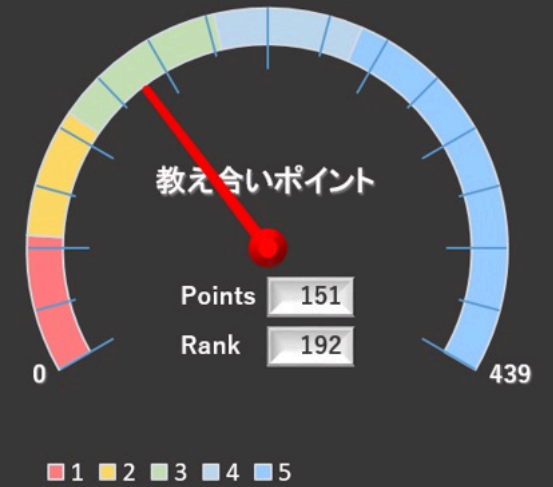
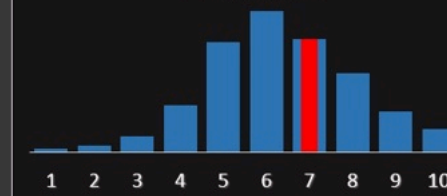
1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

### 計画と振り返り提出状況



### 1学期評価 (1st Semester Evaluation)



1 2 3 4 5

# 今後の課題

---

評価に関する課題

---

学習課題の内容

---

システムの課題



ご清聴

ありがとうございました